



みなとしみず

発行

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所

御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所

静岡市清水区日の出町7番2号

TEL. 054-352-4146(代表)

<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

清水港新興津地区人工海浜・緑地着工

新緑が眩しい快晴のなか、5月12日に「清水港新興津地区人工海浜・緑地着工記念式典」が約100名の列席により盛大に執り行われました。

式典は、主催者である石川嘉延 静岡県知事の挨拶で始まり、望月義夫 国土交通省副大臣を始め、小嶋善吉 静岡市長、前沢 侑 静岡県議会議員、菅沼 隆 清水興津地区自治会長の計4名の来賓からの祝辞がありました。

この人工海浜・緑地は、昔の興津の浜を忠実に再現するのではなく、安全、安心で、海岸への行きやすさを確保しつつ、海水浴や磯遊びなど、かつての興津海岸での楽しみ方が体験できるよう、人々と海岸との関わりを再構築することを基本方針とし、今後、全長800mの人工海浜が2期に分けて整備されることとなっています(第1期分400m 完成予定:平成20年代後半完成予定)。また、大規模災害時には、すぐそばにある埠頭(ふとう)と連携して救援物資の輸送を行うなどの防災拠点として機能するよう整備されていきます。

地域住民の方々や清水港来訪者でにぎわう人工海浜・緑地が整備されるよう、今後とも引き続き支援していきたいと考えております。



望月義夫

国土交通副大臣 祝辞



記念植樹されたクロマツは、大切に育成後、緑地に移植されます。

ファインダーの向こう

近ごろはデジタルカメラが増え、ファインダーをのぞいて写真を撮ることは少なくなってきました。私が撮った写真と日々思うことを毎月ここに記していきたいと思ひます。

毎朝、出勤前に家のまわりを小一時間ほど散歩しています。今の住まいは三保半島の付け根にあるので、海岸沿いの遊歩道や旧国鉄清水港線跡地の緑道が散歩のコースです。散歩をしていると、いろいろなことが目に入ります。散歩や釣りをしている人が多いこと、名産の苺や、枝豆が育っていること、海岸にいろいろな草花が美しく咲いていることなどです。その中でも、気になっているのは海岸の侵食です。

私は清水に来るまで、三保半島は浜の松林の向こうに富士山がそびえたつイメージを持っていましたが、現実には海岸侵食が進み、浜が痩せていることに心が痛みます。侵食の原因は高度経済成長期に行われていた安倍川の砂利の大量採取や、土石流対策などによる流下土砂の減少によるものと聞いています。しかし、現在では対策として砂利採取の抑制や海岸にブロックをおいたり、浜に砂を入れたりしており、少しずつ浜が回復してきているとのこととす。

日本が誇る「三保の松原」の景観を次の世代に残すことが私たちの責任だと思ひます。



第39回 田子の浦港振興会定期総会が開催されました



鈴木尚会長(富士市長)の挨拶

田子の浦港の整備発展と利用促進を図ることを目的として設立された「田子の浦港振興会」の第39回定期総会が、5月16日に開催されました。

本振興会は、田子の浦港に関係の深い企業48社が会員として、田子の浦港に関する事業の進展について検討し、関係機関への要望活動や、臨海地域の発展および港の利用促進のための広報活動などを積極的に行っており、清水港湾事務所長も参与として役員に加わっています。

定期総会は、会長である鈴木 尚 富士市長の開会あいさつと議事進行のもとに、平成18年度の活動・収支決算の報告や平成19年度の活動計画・予算計画などの議案が審議・承認されました。

「SEA DREAMS 2007」に参加しました

NPO 法人 Be-club が主催する「SEA DREAMS 2007」のイベントの一環として、5月13日には三保真崎海水浴場でクリーンアップ作戦、同16日にはマリンターミナルビルで漂着物観察の疑似体験が開催されました。

同法人は、クリーンアップ活動や環境教育等を通じて、いつまでも美しく、人々に愛される海づくりをめざしている団体であり、体験学習による清水港観光交流促進協議会のメンバーでもあります。

三保真崎海水浴場でのクリーンアップ作戦では、地元の小学生をはじめ、約40名が参加し、5月の心地よい風のなか行われました。

この日は、漂着物が少なめということでしたが、それでも1時間で約7袋分のゴミを回収することができました。

漂着物観察の疑似体験では、「大湫宿から江尻宿へ～みずの街道100年ものがたり～」と題して、岐阜県瑞浪市立瑞浪中学校2年生約160名が参加しました。

体験では、用意された実際の漂着物を、ただ集めるのではなく、世界ゴミ調査キャンペーン・データカードを使い、62品目に分けて集計し、さらに出所ごと（陸から出たゴミ、海で出たゴミなど）に分別するといった内容だったため、ひとつひとつをよく観察し、班内で検討しながら積極的に取り組んでいました。

その後の発表では、自分たちが実施している清掃活動では見かけないゴミが海にはあることや、ゴミをポイ捨てしないという自己管理が大切であることなど様々な意見が出され、自然を守りたいという意識がより向上したことと思われます。



今回はビーチクリーナーの実演もあり
ました(写真左:ATV ビーチクリーナー)



実際の漂着物を使って分別

5/16 漂着物観察の疑似体験 より



データカードによる集計

一般の方へ

「海の月間」みなと見学会 参加者募集します!!

「海の月間」の一環として、「海の日」みなと見学会を、静岡県清水港管理局と共催で実施いたします。

埠頭（ふとう）からスーパーガントリークレーンの荷役の様子を見たり、清水港を海上から眺めたり・・・普段なかなか見学ができない場所ですので、ぜひこの機会に参加してみませんか？

- 日時：平成19年7月22日（日）
- 時間：①10:00～11:30 ②13:30～15:00
- 定員：各回20名
- 締切：定員になり次第締め切ります。
- その他：*バスと船でご案内します。

*参加費無料

*荒天時には中止する場合があります。

- 申込・問い合わせ等：次のどちらかへお電話ください。

***清水港湾事務所 企画調整課**

TEL054-352-4148（屋敷）

***静岡県清水港管理局 企画振興課**

TEL054-353-2203（紅林）

スーパーガントリークレーン



清水港監督測量船「まさき」号



団体の方へ

みなとづくり見学会をご存じですか？

清水港湾事務所では、港に関する講座の開設や港内の見学を通じて、『みなと』の果たす役割を地域の皆さんに広く知っていただくことを目的として“みなとづくり見学会”を開催しております。

☆対象者☆県・市町村・自治会・NPO・学校・商工会等の団体(数名～数十名)単位で受け付けております。

※なお、個人での見学希望は受け付けておりませんので、ご了承ください。

★問い合わせ・申込はこちらまで★

- 清水港湾事務所 TEL054-352-4148（屋敷）
- 御前崎港事務所 TEL0548-63-4840（白崎）
- 下田港事務所 TEL0558-23-1208（杉浦）

見学会実績	5月15日	御前崎小学校(クラブ活動)	5月31日	静岡北養護学校 清水分校
(5月分)	5月17日	(社)静岡県商工会議所連合会	☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆	

御前崎港監督測量船「ふじ」号



下田港監督測量船「しもだ」号



マースクラインを歓迎訪船

世界的に有名な船会社「マースクライン」(デンマーク)のコンテナ船「CARSTEN MAERSK」(かーるすてん まーすく)が4月23日に入港したことを機に、歓迎のため船を訪問し、清水港湾事務所からは藤井所長が乗船しました。

ブリッジ最上階の操舵室で行われたセレモニーでは、清水港管理局と静岡市より記念品が贈られ、船長・機関長・一等航海士の3名の方から挨拶がありました。

この船は、満載喫水は15mですが、清水港へは9.8mまで喫水調整(船体を浮かせて)入出港しているそうです。この喫水調整には、時間もコストもかかる上に、航行中の安定性も下がるため、船にとっては大きな負担となります。

この訪船で、実際に操船する方と直接会う機会を得たことによって、このような大型船がより安全に寄港できるような港の整備が必要であると再認識し、今後の我々の取り組みにつなげていかなければと感じました。



2007.4.23 操舵室にて



操舵室から見たガントリークレーン

MEMO

- *操舵室は、海面から約45mのところであり、およそビルの13階と同じくらいの高さです。
- *船の長さは約350mある大きな船ですが、25名の船員で運航されていました。最低16名で運航できるとのことです。

客船&帆船 入港スケジュール

日	時	船名	
7/26	(木)	銀河丸	[練習船] (独)航海訓練所
8/8	(水)	大成丸	同上
9/20	(木)	ぱしふいっくびいなす	[客船]
10/1	(月)	MS HANSEATIC (ハンセアティック)	[客船] 清水港初入港!!
10/13	(土)	日本丸	[帆船] 10/13(土)セイルドリル 10/14(日)一般公開
11/14	(水)	ぱしふいっくびいなす	[客船]
12/13	(木)	飛鳥II	[客船]
1/7	(月)	飛鳥II	[客船]



イベントのご紹介

—大御所400年祭記念事業—

朝鮮通信使と清見寺

フェルケール博物館にて6/10まで開催

お問い合わせ:TEL 054-352-8060



海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おーいに

よくなれ

みなと

0120-497-370

受付時間:9時~12時、13時~17時(土・日、祝祭日は除く)

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください

第68回 黒船祭が開催されました

今から約150年前の1853年（寛永6年）、マシュー・ペリー提督率いる米海軍が浦賀（横須賀市）に来航し、数ヶ月にわたる協議の末、翌年1854年（寛永7年）に、下田・函館を条約港として開港することなどを含めた日米和親条約（神奈川条約・下田条約）がペリー提督と林 復斎大学頭によって調印されました。これにより、日米交易が正式に開始され、近代日本の幕開けとなったのです。

黒船祭は、その功績を後世に伝えるため、また、国際親善に寄与するため、1934年（昭和9年）に第1回が開催され、戦争による中断を挟んで、約70年もの間大切に受け継がれてきた歴史ある行事です。その第68回目が、5月18日から20日までの3日間にわたって下田市内で開催されました。

18日の夕刻に行われた歓迎交流会には、米国大使館トニー・クウォン海軍中佐や関口昌一外務大臣政務官をはじめ、ペリー提督生誕地の米・ニューポート市メアリー・コナリー副市長、静岡県 花森憲一副知事、下田市商工会議所 萩原聰治会頭、下田市議会 増田 清議長ら日米各界からの来賓総勢300人が集まり、米海軍第七艦隊と海上自衛隊によるバンドを楽しみながら、交流を深めることができました。

翌19日には記念式典が開国記念広場で開催され、祈とうではじまり、日米国旗掲揚や来賓らによる花輪奉献等がしめやかに行われました。

式典では、来賓から多数祝辞がありましたが、その一部の要約（編集部にて作成）をご紹介します。



米国大使館トニー・クウォン
海軍中佐の祝辞



米海軍第七艦隊カーティスウィル
バー号牧師 マーガレット・シーメン
大尉による賛美歌

下田と港の素晴らしい自然の美しさ、人々の親しみ深さややさしさが今も昔もかわっていないことに気づくとともに、世界が変化し続ける今日においても、ペリー提督の時代と同様に、日米両国の文化や言葉を理解し合い、さらに絆を強くしていくことが重要です。



—米海軍横須賀基地司令官
ダニエル・I・ウィード大佐—

本協会設立以来、90年に及ぶ日米友好活動を進めてきた上で得た教訓は、政府だけでなく国民ひとりひとりが、両国の相互理解、相互信頼を大切にすることとであり、こういった観点からも、この黒船祭が「日米友好の証（あかし）」として継承されていることは貴重だと思います。



—社団法人日米協会
会長 大河原 良雄 氏—

ペリー提督の故郷であるニューポート市は、約50年前に下田市と姉妹都市協定が締結され、歴史的にも文化的にも強い絆で結ばれています。現在は、両国の小学生の間で「ペンパル交流」が進められるなど、両市の「距離の長さ」や「言葉の違い」を越えて交流し、日本のことを、そして下田のことを学べるようになることを願います。



—米国ニューポート市
副市長 メアリー・コナリー 氏—

どの来賓の方からも、この黒船祭が国際親善に貢献していることを称え、また、将来にわたって良好な関係を継続させるためには、互いを思う気持ちを大切にしながら、未来に向けて黒船祭を継承していく必要があるという言葉がありました。

この長い歴史を尊び、この先も美しい下田の街を守っていく責任があると感じました。

パレード



海上自衛隊下総航空基地カラーガード隊



ガールスカウト下田第61団



在日米陸軍軍楽隊



ペリー提督(?)もパレードに参加

ニューポート市とは...

ペリー提督の出生地でもあり、下田市の姉妹都市でもあるニューポート市は、アメリカ合衆国の東海岸にある港町で、アメリカ合衆国の中でも面積が一番小さいロードアイランド州にあります。

美しい港と閑静な海岸線を有しており、アメリカにおける第一級の避暑地です。

ペリー「黒船」の航路図

